

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通安全対策推進費

事業名 **新** 高齢運転者交通安全対策補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民生活課 交通安全・コミュニティ係

電話番号：058-272-1111 (内 2390)

E-mail：c11261@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,410 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,410	0	0	0	0	0	0	0	4,410
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和3年9月末現在の本県の原付以上の運転者が原因で発生した交通事故死亡事故は34件あり、そのうち13件(約4割)が高齢運転者によるものであり、早急な対策が必要である。

(2) 事業内容

高齢運転者による交通事故を防止するため、後付け急発進等抑制装置の設置補助を行う市町村に対して補助金を交付する。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率 市町村が交付した補助額の1/2以内

センサー有 上限20千円/台

センサー無 上限10千円/台

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,410	
合計	4,410	

決定額の考え方

過去に実施済みであることや、国及び他県での実施状況を踏まえ、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

【「清流の国ぎふ」創生総合戦略】

2 健やかで安らかな地域づくり

(2) 安らかに暮らせる地域

③ 犯罪・交通事故防止の推進

【第11次岐阜県交通安全計画】

2 交通安全思想の普及徹底

(1) 段階的かつ体系的な交通安全教育の推進

カ 高齢者に対する交通安全教育の推進

(2) 国・他県の状況

国 令和3年度終了

東京都、兵庫県、愛知県、三重県 令和3年度終了

(3) 後年度の財政負担

高齢運転者による事故状況を見ながら検討する。

(4) 事業主体及びその妥当性

高齢者の安全運転を支える対策として県が実施することは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	高齢運転者交通安全対策補助金
補助対象者	市町村 (理由) 後付け急発進等抑制装置の設置補助を行う市町村の取組みを促進するため。
補助事業の概要	(目的) 高齢運転者による交通事故を防止する。 (内容) 市町村が負担する後付け急発進等抑制装置設置補助金の1/2を交付する。
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他(例:人件費相当額) (内容) 1/2 (センサー有 上限:20千円/台) (センサー無 上限:10千円/台) (理由) 県と市町村で同率で負担するため。
補助効果	後付け急発進等抑制装置を普及促進させる。
終期の設定	終期 令和4年度 (理由) 市町村における補助制度の促進を図るため。

(事業目標)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 令和7年度までに交通事故死亡者数を60人以下とする。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	(R1)	実績	目標	目標	(R7)	
① 交通死亡事故 死者数	84人	43人	60人	60人	60人	140%

※R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、人数が減少している。

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<p>34市町村が補助金制度を活用し、631台の高齢者の自動車に後付け急発進等抑制装置を設置することができた。</p> <p>指標① 目標:60人以下 実績:43人 達成率:140%</p>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標:___ 実績:___ 達成率:___%</p>

令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	<p>3 高齢運転者が原因で発生した交通死亡事故の割合が増えていることから、県が対策をとることは必要である。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50~100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>
